

令和3年3月30日

日本畜産学会 第128回大会 若手奨励・男女共同参画推進委員会
シンポジウム開催報告

日 時： 2021年3月28日-30日
場 所： オンライン
形 態： オンデマンド配信

タイトル：畜産学の未来を支える若手研究者のキャリアパス

テーマ：新米オヤジの奮闘日記

演題1：ウシの鳴き真似をするイノシシとかけて男女共同参画社会ととく、
どちらも“進もうとしている”(Sus モーとしている)
石原慎矢 先生（日本獣医生命科学大学応用生命科学部 動物科学科）

演題2：家族で楽しむ研究生活
佐藤祐介 先生（宇都宮大学農学部 生物資源科学科）

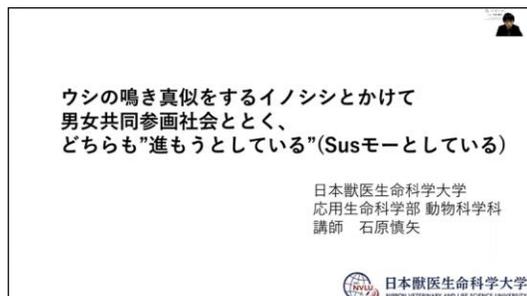
内容：

今回は、講師の先生方にキャリアの分岐点や留学した際の経験などを話していただき、若手研究者に今後のキャリアパスを考える機会を提供することを目的としました。また、もう一つのテーマとして、新米のお父さんである演者のお二人に、夫婦共働き家庭での、家事・育児と研究の両立について、お父さんの立場からの工夫や努力、困りごとなどについても紹介していただきました。

日本獣医生命科学大学の石原先生には、地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム (SATREPS)「ベトナム在来ブタ資源の遺伝子バンクの設立と多様性維持が可能な持続的生産システムの構築」において、貴重な遺伝資源であるベトナム在来豚の管理・保全研究にかかわった経験を紹介いただきました。また、共働き家庭における“便利家電”の重要性について力説していただきました。

続いて宇都宮大学の佐藤先生には、夫婦で同じ研究室・同じテーマで研究するキャリアの構築について紹介いただきました。来年度から新たな職場で研究を開始することなど、大変刺激なるお話をいただきました。

今回は初めてのオンライン大会の中、本シンポジウムも初めてのオンデマンド配信でしたが、盛況に終わられましたこと、ご視聴いただいた会員の皆様に感謝申し上げます。



世話人：杉浦幸二（東京大学）、中島郁世（農研機構畜産研究部門）